

みてるの

永平寺
町議会
だより



第68号 INDEX

令和4年10月21日発行

2つの特別委員会設立 P2~3

そこが聞きたい!

議員13人が一般質問 P10~16

議会活動レポート P18~19

永平寺町議会

検索



永平寺町議会
facebook

吉峰寺

2つの特別委員会を設置

幼・保再編検討特別委員会

構成議員

全議員14人（委員長 上田 誠 副委員長 齋藤 則男）

設置趣旨

幼児園、幼稚園の施設再編については、児童福祉や児童教育はもとより、地域の核となる施設として、多くの町民の皆様の生活に多大な影響を与えるものと考え、議会が調査及び審査する。

学校再編検討特別委員会

構成議員

全議員14人（委員長 齋藤 則男 副委員長 松川 正樹）

設置趣旨

小中学校の再編については、令和4年3月に学校のあり方検討委員会の答申を受け、町教育委員会及び行政が学校再編の方向性をまとめた。町議会に対しては、住民説明を行う前に、合議体である議会の意見集約を求められている。小中学校の再編については、学校教育はもとより、地域の核となる施設として、多くの町民の皆様の生活に多大な影響を与えるものと考え、議会が調査及び審査する。

進捗状況

松岡地区は再編検討済み

令和2年4月に終了しています。その結果は下記の通りです。

- 松岡幼稚園……………令和5年3月閉園
- 松岡西幼児園……………令和5年3月閉園
- なかよし幼児園……………現状のまま
- 松岡東幼児園……………現状のまま
- 吉野幼稚園……………現状のまま
- 御陵幼児園……………現状のまま
- みどり葉こども園（民間）……………令和5年4月新設開園



松岡幼稚園



松岡西幼児園



みどり葉こども園（民間）

上志比地区は再編計画なし

上志比幼児園……………現状のまま

永平寺地区は今後再編計画が提示の予定

行政から具体的な再編案が提示されたのち、慎重に検討に入ります。

進捗状況

再編素案の提示を受けて、学校訪問等を実施して現状の調査を開始

学校再編は町内小学校7校と中学校3校の全ての学校が対象。



9月29日 永平寺中学校



10月5日 志比小学校

小学校・中学校の再編については今後慎重な審議をしていきます。各学校区の住民の皆様には忌憚のないご意見を議会は求めています。地区での意見交換会の開催をお願いします。

承認第10号 令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について

総額 **357万円**

※専決処分とは……緊急を要するため議会を招集する時間がない時、首長が議会に代わって処分すること。

【主な項目】

南越前町に対する災害見舞金	30万円
永寿苑のエアコン修理	88万円
永平寺河川公園侵入防止柵等修理、泥撤去	87万円

議案第51号 令和4年度一般会計補正予算について

総額 **2億2,457万円**

【主な項目】

公共交通対策事業 新型コロナウイルス感染症の影響による減収補填のため、公共交通機関（えちぜん鉄道及び京福バス）に対する支援補助金	1,600万円
---	---------

環境政策推進事業 町有施設太陽光発電設備導入調査業務	361万円
-------------------------------	-------

児童福祉施設費 新型コロナウイルス感染症対策事業 幼稚園、児童館、児童クラブのトイレ改修、おむつ回収ボックスの設置	923万円
--	-------

農業振興費 新型コロナウイルス感染症対策事業 農業用肥料価格高騰対策支援事業 農業経営環境改善事業	3,702万円
---	---------

商工振興費 新型コロナウイルス感染症対策事業 永平寺町経営環境改善事業補助金、ふく割・永平寺町割事業補助金	2,000万円
--	---------

上水道事業負担金 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活支援策として、基本料金及びメーター貸付料を上水道料金から減免	5,370万円
--	---------



太陽光発電設備



議案第52号 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算について

総額 **24万円**

国民健康保険実績報告書作成システム改修業務委託料	17万円
新型コロナウイルス感染症傷病手当	7万円

議案第53号 令和4年度介護保険特別会計補正予算について

総額 **6,869万円**

介護給付費、地域支援事業の精算による返還金	6,869万円
-----------------------	---------

令和4年 第5回臨時会報告

議長 中村 勘太郎

令和4年第5回永平寺町議会臨時会は、8月1日（月）に開催されました。改選後の新体制を決めて、その後審議に入りました。審議された内容は次の通りです。

第5回臨時会議案

承認第9号 損害賠償の額を定めることの特決処分の承認について	承認	議案第47号 中央浄化センター電気設備更新工事（その2）の請負契約締結について	可決
議案第45号 令和4年度一般会計補正予算について	可決	議案第48号 監査委員の選任同意について	同意
議案第46号 健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決		

議案45号 令和4年度一般会計補正予算について

総額 **709万円**

【主な項目】

救急車積載自動心臓マッサージ器	359万円	法人町民税還付金	350万円
-----------------	-------	----------	-------



自動心臓マッサージ器

問 救急車に積載してある自動心臓マッサージ器とはどのようなものか。
答 心肺停止の傷病者に救命処置をする際、救急隊員の代わりに胸骨圧迫を行う器材。故障が判明し修繕ができないため、新規に購入するもの。

問 法人町民税還付金が生じた理由は。
答 法人町民税は概算納付を行い、確定申告後に確定する。法人確定申告は7月末となっており、還付金が生じた。

主な質疑応答
法人町民税還付金

令和4年 第6回定例会報告

議長 中村 勘太郎

令和4年第6回定例会は、8月29日（月）から9月16日（金）までの19日間開催されました。慎重に審議を行い、可決した内容は次の通りです。

第6回定例会議案

報告第3号 令和3年度財政健全化判断比率等の報告について	報告	議案第54号 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
承認第10号 令和4年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第55号 令和4年度上水道事業会計補正予算について	可決
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	議案第56号 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	可決
議案第58号 過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	議案第57号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号 令和4年度一般会計補正予算について	可決	議案第59号 令和4年度一般会計補正予算について	可決
議案第52号 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第60号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第53号 令和4年度介護保険特別会計補正予算について	可決		

議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席）※議長（中村勘太郎）は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第51号	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等12件については全員賛成です。

議案第54号 令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	総額 80万円
分筆及び所有権移転登記を行うための土地測量登記委託料	80万円
議案第55号 令和4年度上水道事業会計補正予算について	総額 5,370万円
〈収益的収入〉 生活支援策として、減免する上水道基本料金及びメーター貸付金を一般会計からの補助金で補充	5,370万円
議案第59号 令和4年度一般会計補正予算について	総額 400万円
九頭竜フェスティバル・永平寺大燈籠ながしでコロナ禍、雨天中止で燈籠、棧敷席の販売数が伸びなかったことによる収入額の減額に伴う支出額差額分を増額補正	400万円
議案第60号 損害賠償の額を定めることについて	総額 15万円
公用車物損事故による損害賠償支払い	15万円

く割」等も含め、前向きに対応したい。

◆建設課

問 松岡西幼稚園を公園に戻す必要性はあるのか。

答 この件については、過去何度も皆様にご理解いただきながら、説明している。

問 3案を予定しているようだが、どこで決定するのか。

答 庁内に民間を含めて検討委員会を設置する。整備については宅地、都市公園部分も含めて、信号交差点の関係からも一体的に整備する。

◆福祉保健課

問 禅の里の修繕において原状回復を必要とするが、長期的な見通が必要では。

答 営業に支障のない範囲で修繕を考えており、長期的な計画については業者の提案を待っている状態である。二酸化炭素の削減を目指した太陽光利用発電も考えたい。



永平寺温泉 禅の里

◆子育て支援課

問 保育士2名の増員をすることだが、来年度以降の保育士充実にの方針は。

答 コロナによる欠員対策として、余裕を持たせるために2名の増員を実施したい。来年度当初予算で再度考えるが、民間園を含めた再配置も考えている。正職員の割合を現状の5割から7割に増やしたいと考え

ている。

◆学校教育課

問 給食調理員の確保について、待遇改善が必要では。

答 給与単価の増など、年々改善している。時給を上げても応募につながるか不明。

◆生涯学習課

問 緑の村ふれあいセンター体育館の積雪対策について、雪止めの工作物を設置することだが、耐久性は十分か。屋根からの落下雪の防止に消雪設備が必要では。



緑の村ふれあいセンター

答 耐久性は十分のことだが、落下雪については、しばらく様子を見たい。

◆一般会計補正予算 第2審議

問 過疎地認定された上志比地区について、若者層の流出等、過疎化の進行を食い止める方針が必要では。

答 総合振興計画など、上位計画に沿った事業の実施を考えている。住民の声を反映させるが、今回提示した計画には、必要と思われる事業を網羅してあるので、必要に応じて過疎債を利用し実施したい。

問 上志比地区として特筆するものが必要では。

答 議会や地域振興会とも協議する。

◆主な質疑応答

◆一般会計補正予算 第1審議

◆総務課

問 企業版ふるさと納税のチラシはどのように使うのか。

答 企業が全国にむけて営業活動ができるよう作成するもので、運用は国の制度指針に沿って行う。

◆防災安全課

問 避難所における充放電設備の今後の方針は。

答 トヨタモビリティとも協定は結んでいるが、電気自動車電源を基軸とした設備で、今回の永寿苑の設置においては、災害時に換気や医療機器等への電源供給を可能とする。

◆総合政策課

問 移住定住プロモーションの委託とは。

答 県外からの移住定住を促進するため、移住検討者へのwebを活用した情報発信を行うための予算となる。

問 太陽光発電施設の導入計画

答 今後ゼロカーボンの基本計画にも反映されてくるが、現段階では国庫補助にて8施設を考えており、LED化、太陽光発電など調査業務として予算化する。将来

的に他公共施設も含めるとなった場合は、随時報告する。

◆財政課

問 過疎対策債の運用は。

答 上志比地区にかかるものについては、過疎対策債で行っていきたい。

◆農林課

問 大雨の災害にかかる支援は考えているか。

答 農協の農協で、経営収入補填の保険に加入していただきたい。

問 ソバの再播種について農協、生産組合への指導はあるか。

答 そういった対応ができるか確認したい。

問 農業肥料高騰対策や、経営環境改善の申請はいつ頃か。

答 県は県委託、町としても農協永平寺支店へ委託の方向で進めたい。国の補助金交付については未確認、県はホームページで周知する。

◆商工観光課

問 道の駅工事の追加理由は。

答 電気設備工事等、増額工事が見込まれるため。

問 町の経営環境改善の対策の身は。

答 令和3年は72件あった。アプターコロナを見据え、永平寺町などの事業者への支援策として「ふ

議案への賛否討論

◆令和4年度一般会計補正予算について

◆反対討論

長岡千恵子

令和5年度入園希望調査の結果、1クラスに40人の園児が集中することが判明した。コロナ禍において多くの園児が集中することはリスクが高いので、以前から閉園の延期を求めてきた。コロナ対策や脱炭素対策など必要な予算は認められるが、西幼稚園跡地の公園基本計画委託料は時期早尚であり反対する。

◆賛成討論

川崎 直文

新型コロナウイルス感染症対策として、生活支援で水道基本料金等の減免(5,370万円)、農業用肥料価格高騰対策支援(3,101万円)、地域公共交通等運行継続特別支援(1,599万9千円)等、脱炭素化への取組で町有施設太陽光発電設備導入調査業務(360万8千円)が計上された。これらの事業は適切であり早期に実施すべき。補正予算に賛成。

◆反対討論

金元 直栄

コロナ対策等、町民に必要な予算のあることは認めるが、今回、西幼稚園の跡地を早々に公園にとの設計予算が示されている。町内の幼稚園で最も安全な場所にある園の敷地を、それも急いで公園化する必要はない。現園の在園中に設計予算を示すのは大いに問題があり、反対だ。

議会・行財政改革特別委員会報告

委員長 滝波 登喜男

当委員会は、8月25日（木）と9月29日（木）に開催した。「議員のなり手不足」の解消に向け、その原因について話し合った。事前調査として、なり手不足の原因は何かの問いに対し、77項目の回答を得、それらを3つに大別した。

①議会・議員の活動条件の貧弱化
ア報酬 イ活動時間 ウ定数 エ選挙
②議会・議員の魅力の変遷
③地域力の低下
意見の一部を紹介します。

①ア報酬
・活動量や町長と比較し、適正な数字を出すべき。
・若い人には、ある程度生活できる報酬が必要。
イ活動時間
・仕事をしながら活動できる環境づくりを。
・活動量が増えて兼業は難しくなる。
ウ定数
・なり手不足を考えると、これ以上減らせない。

②議会・議員の魅力
・住民や地域の困り事の解決ができることが魅力。
・住民と接すること、住民参加を求めることが必要。

③地域力の低下
・昔は、青年・壮年・婦人の社会教育団体が、地域力を支えてきた。
・地域力を高めるためにどう切り込むか。議員の姿も大事。



9/29 議会・行財政改革特別委員会

学校再編検討特別委員会報告

委員長 齋藤 則男

町内小中学校訪問日程

訪問学校	日	時	担当 議員
志比小学校	10月5日（水）	10:30~11:30	酒井・長岡・清水憲・松川・中村
	10月13日（木）	9:30~11:00	酒井・齋藤・松川
上志比中学校	10月13日（木）	8:35~12:25	朝井・川崎・中村
		13:35~15:25	長岡・上田
		9:20~11:20	
志比南小学校	10月14日（金）	10:30~11:30	長岡・川崎
上志比小学校	10月14日（金）	9:30~11:20	酒井・松川
志比北小学校	10月19日（水）	13:35~14:25	清水紀・森山・楠
上志比中学校	10月19日（水）		清水紀・森山・楠



10/5 志比小学校訪問 校長と懇談

新設された当委員会を、9月29日（木）に全議員出席で開催した。

■あなたの学校へ訪問します
町内小中学校全10校への訪問日程を調整した。
小中学校への訪問により、現状を把握していく。

幼・保再編検討特別委員会報告

委員長 上田 誠

8月26日（金）と9月29日（木）に開催した。

第1回協議事項は新議員理解の必要性から

①これまでの経緯について
・松岡小学校区域4園から3園（新園舎）への再編と内1園を民間とした経過の説明

②民間認定こども園の進捗状況について
・建設状況と概要説明
・来年度各園の希望園児数の確認と方向性

③来年度以降の方向性について
・永平寺地区の3園の再編協議に向けて保護者、地域に説明開始

④今後の特別委員会の進め方について
・新園の開設に向けた各事項の調査・検討
・永平寺地区対応は小学校の再編も考慮して対応を慎重に進める。

第2回協議事項
①西幼稚園の閉園の時期、方法について
②進め方について
・現在西幼稚園の閉園は5才児の卒園（令和5年3月）と同時に予定されているが、4才、3才児が卒園できるまで延長を希望する保護者の声がある。
・来年度の希望入園先に片寄りが見られることにより、段階的な対応が必要ではないか。等々
・今後の進め方として西幼稚園の保護者の要望の把握が必要。
・保護者の要望等の正式な意向を持つて対応する。

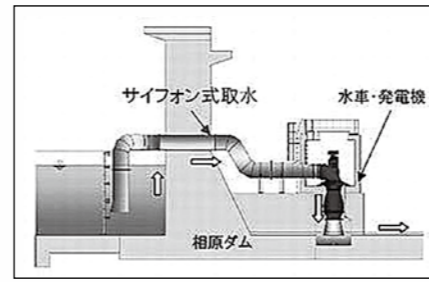
常任委員会報告

改選に伴い年間テーマの検討

総務産業建設常任委員会 委員長 酒井 圭治

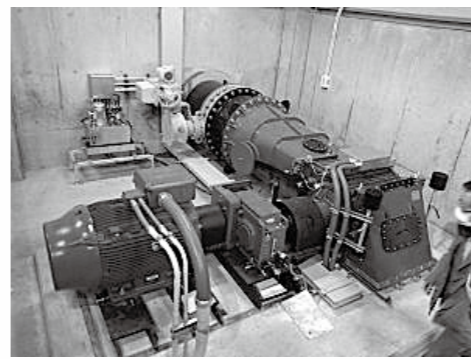
改選後、初の委員会を9月13日に委員全員の出席のもとに開催し、協議事項を慎重に審議した。

【年間テーマ】
【議会と防災対応】
「議会防災訓練」を年内中に実施することとした。
また「町内自主防災協議会との意見交換会」も行うこととした。



サイフォン式水力発電図

【再生エネルギーの活用】
脱炭素社会の観点からも再生エネルギーの活用を図る点で「小水力発電の導入」とした。



水力発電設備

○その他
「議員のなり手不足」をテーマとした。
また、現在の経済状況の悪化からも直近の状況等、行政並びに商工観光関係機関と密に連絡を取合いながら情報収集に務めるべきとの意見もあり、今後、注視していくこととした。

活動方針について協議

教育民生常任委員会 委員長 金元 直栄

当常任委員会は、9月定例会中の9月13日に委員全員の出席で開催された。

改選後初の委員会でもあり、当委員会の課題や、今後の取り組みの方向を協議した。

○年間テーマを決め、調査・研究には、年度内、残された期間のこともあり、事務事業の評価は委員会としては、今年度は取り組みなことを確認した。

○学校の統廃合や、幼・保の再編・統廃合問題もあることから、当委員会の独自の調査・研究の必要性を確認した。

○国保や介護保険特別会計等、所管の状況報告を定期に示してもらうことを確認した。

協議の中で出された意見は、学校・幼・保統廃合の特別委員会が設けられたが、常任委員会として、独自の調査が必要だ。
・学校等の視察に取り組む。特に、学校の統廃合の前に、子どもらにとって良い教育環境について学びたい。



過去に開催された「議会と語ろう会」

・幼児教育として、民間園で任意で始まる英語教育のあり方。
・教育格差。
・学校の統廃合問題について「議会と語ろう会」をコロナ禍の中どのような形で実施していくのか。
等の意見が示された。

問&答

そこが聞きたい!

9月定例会 一般質問

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

森山 充 … 10P	酒井 圭治 … 11P	朝井征一郎 … 11P
楠 圭介 … 12P	長岡千恵子 … 12P	川崎 直文 … 13P
齋藤 則男 … 13P	上田 誠 … 14P	金元 直栄 … 14P
松川 正樹 … 15P	清水 憲一 … 15P	清水 紀人 … 16P
滝波登喜男 … 16P		

一般質問 目次

問 子どもの健全育成にかかる支援は

答 関連情報を共有し優しい町を目指す

問 町内での子ども食堂、子ども宅食事業、学習支援の実態は。

子育で支援課長補佐

現在は、永平寺町社会福祉協議会とNPO法人かさじぞうの2事業者が宅食事業や学習支援事業等を行っている。子ども食堂等については、今後も協議検討していきたい。

問 各課との連携は。

子育で支援課長補佐

子どもの健全育成にかかる支援については、要保護児童対策協議会や、子育で世代包括支援センターほか関係機関などと情報共有し、定期的な状況の把握と支援につながる取り組みを強化していきたい。

教育長 小中学校にお

いても、子育で包括支援センターと連携を取りながら対応していく。

町長 個人情報保護法の下で色々な情報の取り扱いには十分注意し、支援対応の必要性も考えながら、引き続き優しい町を目指して頑張っていきたい。

問 大学等との連携は。

子育で支援課長補佐

現在、NPO法人かさじぞうと、福井大学医学部の学生を中心とした団体「t o g e t h e r」や、県ボランティアサークル



子ども食堂(地域共生事業)



酒井 圭治 議員

ル「BBS」に加入している県立大学や、福井工業大学の学生が学習支援ボランティアとして参加している。

【その他の質問】
問 北陸新幹線の延伸、中部縦貫自動車道の県内開通を見越した対策は。
答 民間投資、雇用、交流人口も見据えてしっかりと取り組んでいく。

問 農業政策の方向性

答 農地集積を着実に進めていく

問 米価が低迷している現状、第二次永平寺町総合振興計画の中で数値として示している認定農業者数や農地集積率は現段階でどのようになっているのか。目標指標として示してある農地集積率の達成見込みは。達成に向けた方向性は。

農林課長 認定農業者数は個人が18名で法人が14団体となっている。農地集積率は令和4年3月の段階で61%となっている。振興計画の目標として令和8年までに80%としており中間目標の65%には及ばないが、国の集積率の59%を上回っており、着実に進展していると考えている。

町としては国や県な



森山 充 議員

どの補助金に町費を上乗せるほか、JA福井県と連携したアドバンスマーチャー永平寺ブロッコリー協議会において情報交換、農業者の技術向上、経営発展を図っていく。

問 農業と観光の連携について現状と今後の方向性は。

商工観光課長 ニンニクやピクニックコーン、タマネギ、レンゲ米など町外にも知名度が高く人気のある農産



収穫前の稲

品があり、永平寺ブランドに認定して販売促進とともに町のイメージ発信を図っている。また、ニンニクやピクニックコーンは加工した新商品開発も行っており永平寺町らしい土産品として親しまれている。今後は農業体験ツアーなど農業者と観光客の交流を通じた滞在型観光の推進などを考えている。

問 役場に給水スポットの設置を

答 感染拡大防止の観点で設置しない

問 役場を訪れる町民に、この暑さです。待ち時間に冷たい水を飲んで水分補給を受けることは、心の安らぎを受け、コロナウイルス感染対策に水分補給が必要。ウォーターサーバー機器は強力な浄水機能とクリンシステムで、水道水をおいしく提供できる。設置してはどうか。

総務課長 現在はコロナ禍の状況を踏まえ

て、感染拡大防止の観点から、会議や来客時など、お茶を出すことを極力控え、マイボトル持参を呼びかけている。役場には設置は考えていない。

どうしても飲料水が飲みたいという要望があれば、役場給湯室等に案内している。

◆物価高騰対策で町民の負担軽減
どうしても飲料水が飲みたいという要望があれば、役場給湯室等に案内している。

問 物価高騰や原油価格高騰対策で、町民の経済的な負担軽減を図るために、生活の安定ができる支援を。地方創生交付金の補助金で町民に燃料費(ガソリン、軽油、灯油など)に負担購入券を

配布してはどうか。

財政課長 物価の高騰や、外出自粛による町民への影響が大きいことから、町としてこれまでも生活支援、事業者支援の施策を実施している。農業用肥料価格高騰対策支援事業、ふく割補助金、水道料金など、直接的支援として、社会福祉施設移動系サービスの燃料費の支援など予算計上している。

町長 物価高騰している中で、水道代の減免、一ヶ月一家族1000円で、半年やると大体6000円を全世帯に支援する。



に負担購入券を

問 中学校部活動の地域移行について

答 国や県の方針に沿って準備していく



楠 圭介 議員

問 公立中学校の部活動を地域団体や民間事業に委ねる地域移行が国から提言されている。町は部活動の受皿としてどのような対応をしていくのか。総合型地域スポーツクラブ導入に挑戦してみてもよいのでは。

答 変わらない。教育長 学校部活動の地域移行については、国と県の具体的な方針が、11月頃には出てくると予想している。具体的の方針が出次第、現行の指導者とスポーツ協会の役員を含めた協議会を立ち上げ、検討していきたい。

生涯学習課長 総合型地域スポーツクラブは、何年も前から協議を重ねてきたが、運営経費や指導者確保が難しく、現段階では導入は難しいと判断している。

問 日本スポーツ協会の調査において、部活動指導員や、外部指導者の50%以上がスポーツ指導に関する資格を未保有であるという状況。

町長 導入しないでは無しに一つの選択肢として残しておく。他の市町村の動向を見ながらにはなるが、スポーツ振興を大事にしていきたい気持ちは

ただスポーツ協会としては、資格の取得といった指導者人材の育成に取り組んでいく必要はあり、町としてもフォローをしなくてはいけない認識はある。また指導者候補として町内にある2つの大学の学生も視野に入れて検討していきたい。



問 令和5年度入園希望調査結果は

答 みどり葉子ども園(民間)に集中



長岡千恵子 議員

問 調査対象者と回収数及び回収率は。

答 閉園の在園児への過渡的対応

問 子育て支援課長補佐 町内全園の保護者と新園説明会に参加の入園前の保護者合わせて386人。回答回収379人、回収率98.2%。

問 感染防止策だけでは感染防止はできない。コロナ感染対策として、1クラスの園児が少なくと感染リスクが低くなり、保護者が仕事に行けないというリスクも低下。1クラスの園児数を減少する

令和4年8月31日現在の園児数と令和5年入園希望園児数

Table with columns: 園名, 年度, 0歳, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 合計. Rows include 松岡幼稚園, 松岡西幼稚園, みどり葉(民間), なかよし幼児園, 松岡東幼稚園, 吉野幼稚園, 御陵幼稚園, 志比幼稚園, 志比南幼稚園, 志比北幼稚園, 上志比幼稚園, and 合計.

【その他の質問】問 給食調理員不足の解消施策は。答 親子式・センタ方式などを導入に向けて調査研究。

問 カーボンニュートラルの実現

答 環境基本計画を改定し取り組む



川崎 直文 議員

問 2050年にカーボンニュートラルの実現を目指す第2次永平寺町環境基本計画の改定の重点施策は。

答 上し、前倒して取り組む。

問 第2次環境基本計画の改定の日程は。

答 第1回の環境審議会を開催し、現計画の間指標の検証、また公共施設のカーボンニュートラルの施策、温暖化効果ガスの排出抑制について説明する。

問 環境基本計画の改定、ゼロカーボンシティ宣言、環境政策推進事業の事業概要にある「脱炭素先行地域づくり事業」の展開は。

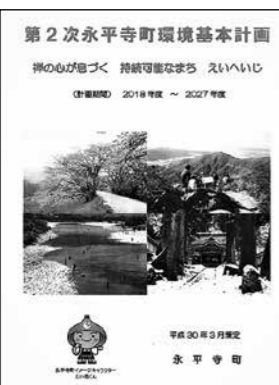
答 審議会の内容を踏まえ今年度中、3月末までに計画を改定。

問 環境基本計画の改定、ゼロカーボンシティ宣言、環境政策推進事業の事業概要にある「脱炭素先行地域づくり事業」の展開は。

答 審議会の内容を踏まえ今年度中、3月末までに計画を改定。

問 環境基本計画の改定、ゼロカーボンシティ宣言、環境政策推進事業の事業概要にある「脱炭素先行地域づくり事業」の展開は。

答 審議会の内容を踏まえ今年度中、3月末までに計画を改定。



平成30年3月に策定された第2次永平寺町環境基本計画

総合政策課長 ゼロカーボンシ

問 学校は再編なのか、在り方なのか

答 望ましい規模に整えたい



齋藤 則男 議員

問 諮問委員会には学校の在り方ということで諮問し、答申を受け、教育委員会の素案がいつの間にか再編計画に変わってしまった。

問 諮問委員会には学校の在り方ということが道筋ではないか。今、学校の統廃合の声が大きいように感じている。

町長 急ぐ理由は、不安の中で再編が必要である志比北小学校、上志比中学校について、答申にも「至急」という文言がある。子どもにとって望ましい規模をできるだけ早く整えるのは極めて自然なことだ。行政としては責任がある。

町長 これを進めて2年が経つ。町の皆さんによる検討委員会をつくり、アンケートを取った結果を見ると、仕方ないという声が多いというのも事実。

問 子ども達が安全で安心して学ぶことができ、教育環境を整えることが重要であり、毎日通学する児童生徒が本心に望んでいる教育環境の整備が大切なこと。地域の人や親たちは様々なことを望み要求する。本町の主役は子どもである。

町長 子ども達の環境のために今、何をしなければいけないか。町も決して急いでいるつもりはない。学校再編の方向性をお願いした時、将来の子ども達のために考えられた答申。

問 子ども達が安全で安心して学ぶことができ、教育環境を整えることが重要であり、毎日通学する児童生徒が本心に望んでいる教育環境の整備が大切なこと。地域の人や親たちは様々なことを望み要求する。本町の主役は子どもである。

町長 子ども達の環境のために今、何をしなければいけないか。町も決して急いでいるつもりはない。学校再編の方向性をお願いした時、将来の子ども達のために考えられた答申。

問 子ども達が安全で安心して学ぶことができ、教育環境を整えることが重要であり、毎日通学する児童生徒が本心に望んでいる教育環境の整備が大切なこと。地域の人や親たちは様々なことを望み要求する。本町の主役は子どもである。

町長 子ども達の環境のために今、何をしなければいけないか。町も決して急いでいるつもりはない。学校再編の方向性をお願いした時、将来の子ども達のために考えられた答申。

問 子ども達が安全で安心して学ぶことができ、教育環境を整えることが重要であり、毎日通学する児童生徒が本心に望んでいる教育環境の整備が大切なこと。地域の人や親たちは様々なことを望み要求する。本町の主役は子どもである。

町長 子ども達の環境のために今、何をしなければいけないか。町も決して急いでいるつもりはない。学校再編の方向性をお願いした時、将来の子ども達のために考えられた答申。



再編計画(案)の上志比中学校

問 地区振興会の基礎は公民館と共に

答 各所管でしっかりサポートする



上田 誠 議員

問 近年の少子高齢、人口減、コロナ禍等々の情勢下で地域の担い手不足、若者流出、コミュニティの希薄化等が顕著化。その中で地域力、防災力、支え合い等で元気、生きがい、笑顔、人や生活を大切に活動と組織が今日ほど求められている。この組織（振興会）のベースになる公民館の充実と支援が不可欠。近隣市町と比べる人員、財政の支援が見劣りするが。

答 きと活躍できる場を支援する。

◆若者の活躍する対策が町を救う

問 当町の子育て、教育支援は全国的に見劣りせず魅力発信をしている。町の奨学金制度を設け、卒業後戻ってきたら半額免除や、学生（若者）議会で決めたことに予算を付け実施するなど、若者の参画と集まりが、地域での構成員として見えてくる対策で、今後の町を救う大きな力になると思うが。

町長 子育て、若者支援等行っており、奨学金制度は利子補給を実施。集中と選択、研究し対応する。

生涯学習課長 若者の集まり企画（ワカマチ

プロジェクトし、生き生きとサポートするが、役割は極めて大きい。位置付けが多少違い、集まりや交流の場の活動であり、今日の活動の支援は各所管課で今まで通りしっかりとサポートし、生き生き



松川 正樹 議員

プロジェクト）を企画し、ワークショップ、イベント等、えい坊館を拠点に集える、若者の企画の支援をしている。

◆NIE（教育に新聞）で子どもに夢を持つ力を

問 全国の調査で、文章理解、想像表現が伸び、夢や目標を持つ力が養われるが。

教育長 現在8校/10校が実践。「主体、対話的で深い学び」の推進で、学校の教育活動全般に繋がる活動として継続する。

問 ヤングケアラーへの支援に向けて

答 町として調査はしていない



金元 直栄 議員

問 国はヤングケアラー支援強化とし、情報の集約化と新たな枠組みづくりへ取り組むこととした。本町での調査と支援の状況は。国は現状で必要な行政サービスは手当てされているが、町で調査もされていないのにならぬのか。

◆学校の統廃合と地域の存続

問 町教育委員会は学校の在り方検討委員会からの答申を受け、小学校では1学年3名以下のクラスが生じたり、中学校では1学年1学級となると統廃合をするとの基準案をまとめ議会に示している。

町長 本町は合併後、人口減少に拍車がかかり今に至るが、地域から学校がなくなると、その地域はどうなるかと考えているのか。

町長 社会が大きく変わる中、活力ある町を取り戻すためにこれまでもしっかりとやってきた。町の総合戦略も7年前に定め、人口対策に取り組んでいる。自



清水 憲一 議員

然減はあるが、社会増減も見られる。町民に約束したことは、職員と一丸となり進めてきた。

問 国の子育て支援が全く見えない中、町の思い切った取り組みが必要で、地域に学校はなくてはならない。

町長 学校統廃合では、町で素案を作り、議会の意見を加え、地域に聞きに行こうと思っているところだ。

問 私立の新幼稚園に申し込みが集中してしまったが

答 公立でも幼児向け英会話教室に力を入れる



松川 正樹 議員

問 新幼稚園に人気集中しているが、喜んでばかりはいられないこともある。定員をかなりオーバーしている。最終的には抽選という方法になる。

町長 心配なのは、新幼稚園の方針に町の反応が弱かったこと。早く反応して、それなりの準備をしていかないと、徐々に公立の幼稚園が選ばれなくなる可能性が出てくる。

一方で小学校では小学5年生から英語の教科書を用意され、3年生まで向かうとのこと。幼児園で英会話を始めても小1、小2のブランクの問題もある。ややこしい。だけど何とか前へ進まなければならぬ。方法は

ある。町独自の子ども英会話に関する独自のカリキュラムを作る。子どもに負担をかけさせない。知らず知らず力がつく学習。教育機器を用意する。リスニングに特化させる。子どもの耳も舌も幼い頃は柔らかい。子育て支援課長補佐 ただ今のご提案、ぜひ参考にさせていただく。町内の園では「遊びの中で学べるクラブ活動」をモットーに各クラブの講師が、園児の個性、特技、興味を伸ばすため、園ごとに様々な特色ある活動を行っている。リスニングに特化した英会話教室も今後のクラブ活動に活かしていきたい。

町長 各園が特色ある

活動を、園の自主性を重んじて進めている。英語も特色の一つ。

【その他の質問】

問 ラッキーをリノベーションし、店舗が入店できるように。

答 当該物件が個人所有のものなので、お答えはできない。

問 議員のなり手不足の本町の最大の要因は、住民自身の意識だ。

答 多くの方が町を愛し関心があるので、は。

問 志比地区三小学校の統廃合の行方が見えない。

答 統廃合の基準を下げた。極力地域の皆さんに沿った基準を設けた。

問 選挙が無投票でも候補者の公約は知らされるべきだ。

答 条例では、選挙公報の発行は難しい。議会だよりで載せられたらどうか。

問 人口減少問題、難題への取り組みは

答 現行サービスの継続とPRの充実



清水 憲一 議員

問 人口減少対策として、子育て世代に対して様々な支援を行っているが、困り込みをすため野心的な更なる支援の上乗せを考えていないか。

町長 子育て世代に支援が集中してしまつと、他の世代向けのサービスを少し我慢することになり、全世代に渡ってバランス良くサービスを提供していきたい。

総合政策課長 令和3年度にU・Iターン者への補助を新設している。他の自治体の取り組みも参考にしながら都度見直ししていききたい。

町長・農林課長 国、県、中部漁協など、それぞれの機関との絡み

◆2050年ゼロカーボンに向けての意識改革を

問 世界的に地球温暖化の影響による異常気象が頻発しており、カーボンニュートラルは避けては通れない課題である。当町には再エネ資源として九頭竜川、芝原用水があるが、これらを利用して小水力発電はできないか。また、町民の意識向上のために中部エリアで行われている、小水力発電コンテストの開催はできないか。また、エンジニアの交流ができれば子ども達にとっても良い刺激になると思う。

町長 社会が大きく変わる中、活力ある町を取り戻すためにこれまでもしっかりとやってきた。町の総合戦略も7年前に定め、人口対策に取り組んでいる。自

もあり非常に難しい話である。総合政策課長 環境基本計画の改定中であり、審議の中で検討していきたい。



清水 憲一 議員

問 企業誘致に関して。

答 税金を使って、という事なので、1社だけを特別優遇するというのは公平性を欠くので難しい。

問 全エリアに近助タクシー拡大を。

答 地域公共交通会議との絡みで、全エリアに導入するというのは今の時点では難しい。

問 人口減少社会、担い手不足対策を
答 担い手のサポートとDX化が鍵



清水 紀人 議員

問 商工業・観光業者が11年で15%も減少した。事業承継についての取り組みは。

答 町づくり地域・集落・団体についての考え方・取り組み、行政サービス変化は。生涯学習課長 地区振興会の設立や、支援を行うと共に、問題意識を町民の皆さんと共有し、町づくりを進めていく。

問 町長 後継者はないが、いずれ誰かに継承したい(16・8%)。自分の代での廃業を検討(35・3%)。

答 農業の担い手不足の対策は。農林課長 新規就農対策の事業見直しや、機械・施設等導入支援、ICTを活用し労働者不足を補い、経営の効率化を図る。農福連携なども検討。

問 町づくり地域・集落・団体についての考え方・取り組み、行政サービス変化は。

答 生涯学習課長 地区振興会の設立や、支援を行うと共に、問題意識を町民の皆さんと共有し、町づくりを進めていく。

問 町長 後継者はないが、いずれ誰かに継承したい(16・8%)。自分の代での廃業を検討(35・3%)。

答 農業の担い手不足の対策は。農林課長 新規就農対策の事業見直しや、機械・施設等導入支援、ICTを活用し労働者不足を補い、経営の効率化を図る。農福連携なども検討。

問 町づくり地域・集落・団体についての考え方・取り組み、行政サービス変化は。

答 生涯学習課長 地区振興会の設立や、支援を行うと共に、問題意識を町民の皆さんと共有し、町づくりを進めていく。

問 町長 後継者はないが、いずれ誰かに継承したい(16・8%)。自分の代での廃業を検討(35・3%)。

答 農業の担い手不足の対策は。農林課長 新規就農対策の事業見直しや、機械・施設等導入支援、ICTを活用し労働者不足を補い、経営の効率化を図る。農福連携なども検討。



DX Digital transformation

問 8月の南越前町での大雨は、2日間で426mm降った。令和2年、熊本の球磨川氾濫では、400〜500mmだった。本町の洪水ハザードマップは100年に一度の降雨量での被害を想定している。これは九頭竜川で641mmの雨量に匹敵し、起こり得ること。

答 九頭竜川左岸、薬師の東幼稚園から五松橋近くに堤防らしきものがない。特に人口増の清

問 学校再編の進め方について岡山県高梁市は、再編基準に達する3年前から準備会を開き、再編ありきの考え方でなく、地元がこの学校をどうするか、子どもの教育をどうするかを聴き、方向性を示すことを大事にしている。本町も町や議会が方向性

答 流地区浸水対策のためにも早期堤防設置を求めると。町長 国交省河川事務所は、九頭竜川については優先順位を決め、弱い箇所から工事をしていく。五松橋付近は安全であることを、河川事務所より確認している。



東幼稚園近くの堤防

問 相次ぐ大雨被害九頭竜川は大丈夫か
答 安全であると確認



滝波登喜男 議員

問 流地区浸水対策のためにも早期堤防設置を求めると。町長 国交省河川事務所は、九頭竜川については優先順位を決め、弱い箇所から工事をしていく。五松橋付近は安全であることを、河川事務所より確認している。

問 学校再編の進め方について岡山県高梁市は、再編基準に達する3年前から準備会を開き、再編ありきの考え方でなく、地元がこの学校をどうするか、子どもの教育をどうするかを聴き、方向性を示すことを大事にしている。本町も町や議会が方向性

答 流地区浸水対策のためにも早期堤防設置を求めると。町長 国交省河川事務所は、九頭竜川については優先順位を決め、弱い箇所から工事をしていく。五松橋付近は安全であることを、河川事務所より確認している。

問 学校再編の進め方について岡山県高梁市は、再編基準に達する3年前から準備会を開き、再編ありきの考え方でなく、地元がこの学校をどうするか、子どもの教育をどうするかを聴き、方向性を示すことを大事にしている。本町も町や議会が方向性

議会・各委員会の議員出欠状況

令和4年8月1日～令和4年10月12日

Table with columns for member names, attendance counts, and a detailed attendance grid for various council sessions from August to October.

12月定例会日程については、後日ホームページ等でご案内します。



移転改修した志比南放課後児童クラブ

放課後児童クラブで楽しく安全に過ごせるように改修



野中地区(上志比)道路構造物

えちぜん鉄道の架線に注意



新築された上志比地区消防施設

上志比地区を火災から守るために消防設備を充実



増築・リニューアルが終了した松岡東幼稚園

令和4年より0才児受け入れ開始



松岡公園公衆トイレ

男子トイレの一部を多目的トイレに改修



越坂団地A-1棟

外壁を改修して美しく快適に



8/19 福井県町議会議員研修

テーマ
「決算認定における議会の意義と重要性」



8/27 移住者交流会

移住者が地域に根ざし生活しやすいように
移住者同士の交流



9/21 交通安全街頭活動

町内23ヶ所 県道上志比支所前交差点



9/26 災害時石油供給協定

災害時のガソリンと灯油の安定供給



10/3 志比南・吉野地区近助タクシー 本格運行出発式

地域交通の充実に向け本格運行開始



10/7 嶺北町村議会議長会議員研修

テーマ
「新時代の議会の新しい役割」

心繋がる永平寺町議会



よろしくお願いたします。

議会のホームページもめての！



- トップページ
- 議会メニュー
- 町議会ガイド
- 議員紹介・委員会構成
- 議会改革
- 議会活動レポート
- 議会だより
- キッズページ
- 議員の横顔



議会日程や議事録が閲覧できます。
議員の意外な横顔も!?

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>



編集者のひと言

先日、新人の広報担当議員として研修会に参加しました。講師の開口一番タイトルは「絶滅危惧から持続可能な議会広報へ」で「そろそろ化けませんか」という主題でした。

はじめにアンケート形式で議会だよりに対する一般住民の満足度は10点満点中で何点だと思うか?の質問。参加者230人中8人が7点以上、4点以下はなんと200人を超える回答となりました。

さて、さて、これからの議会広報に大きな不安を持ったわけですが、講師いわく、未完成の広報であるということは、これから良くなる可能性が大にあるということでした。

そこで町議会の広報としては「伝える」広報から「伝わる」広報への脱却が求められます。これからは議会広報においても議員力をアップさせながら一方通行から双方方向につながる持続可能な議会だよりを目指します。
(酒井 記)

議会広報特別委員会

- 委員長 川崎 直文
- 副委員長 長岡 千恵子
- 委員 酒井 圭治・森山 充
- 滝波登喜男・松川 正樹
- 楠 圭介

- 発行責任者 中村 勘太郎
- 議長